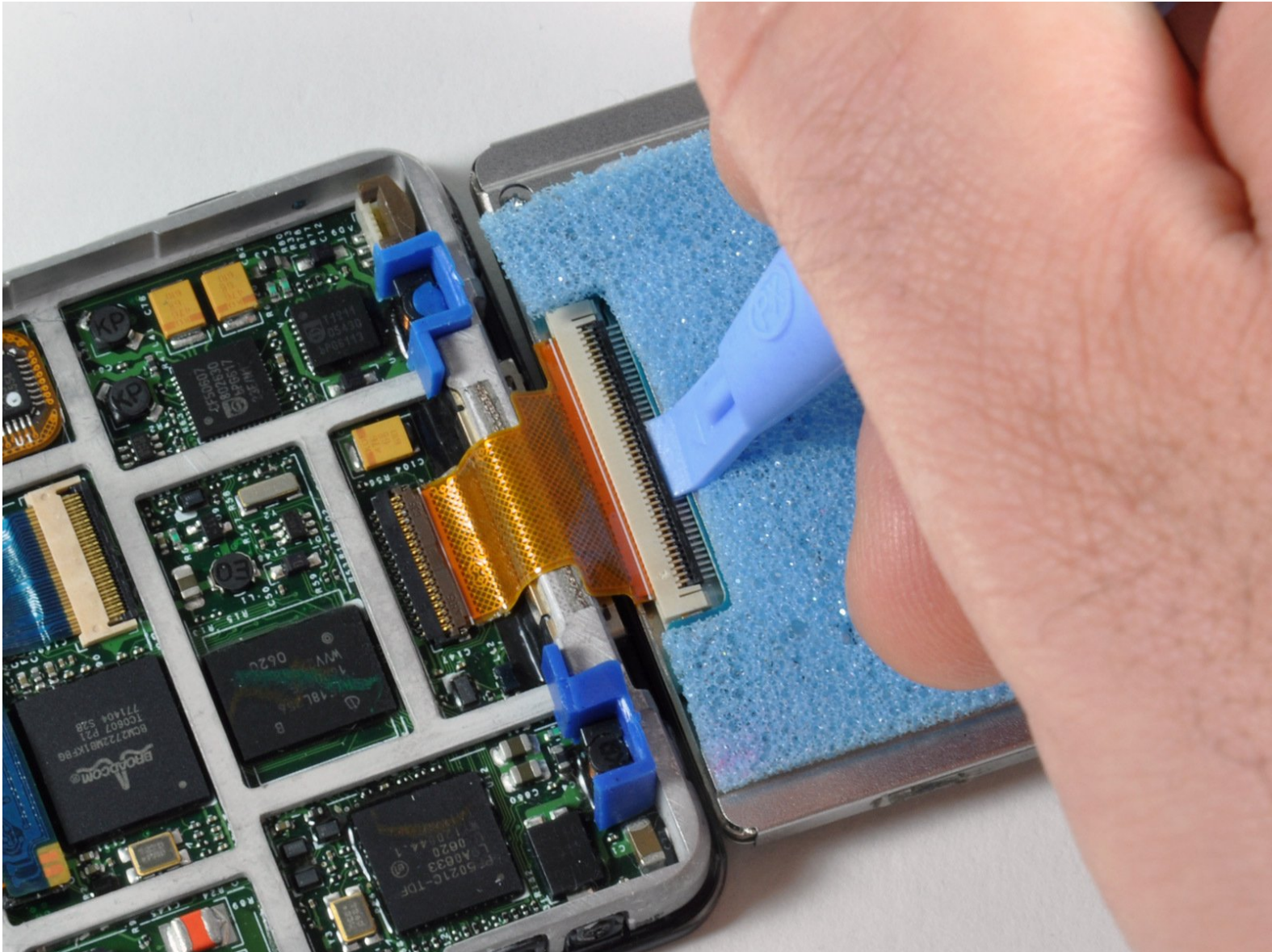




iPod 第5世代 (Video) ハードドライブの交換

Written By: Miroslav Djuric



INTRODUCTION

このガイドを参照して、iPod 第5世代 (Video) ハードドライブを交換します。



TOOLS:

- [iFixit開口ツール](#) (1)



PARTS:

- [iPod Video 30 GB Rubber Bumpers](#) (1)
- [iPod Video 60 80 GB ラバーバンプ](#) (1)
- [iPod Video 30 GB ハードドライブ](#) (1)
- [iPod Video 60 GB ハードドライブ](#) (1)
- [iPod Video 80 GB ハードドライブ](#) (1)

Step 1 — ケース



- ① iPodを開口する前に、ホールドスイッチがロックされているか確認してください。iPodを手前に置いて、スライダーは右側に完全に移動しているか確認します。

Step 2



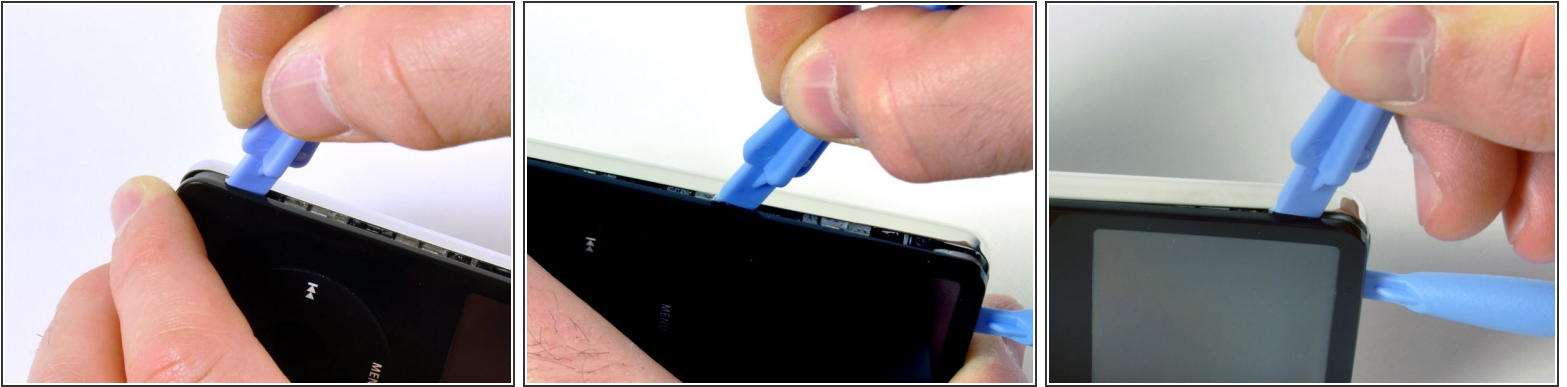
- ① iPodの開口はチャレンジです。数回試したところで、iPod本体が開く前に諦めないようにしましょう。
- 開口ツールを使って、iPodの下部にある固定クリップを外します。ツールの先端をメタル製のバックケース側に向けてください。プラスチックのフロント側に傷が入らないようにご注意ください。

Step 3



- 開いた状態のiPodの画像を参考にして、固定クリップがどこに付いているか確認してください。両側に4つ、上部に1つ、下部に2つあります。プラスチックカバーを傷つけないように役立つ情報です。

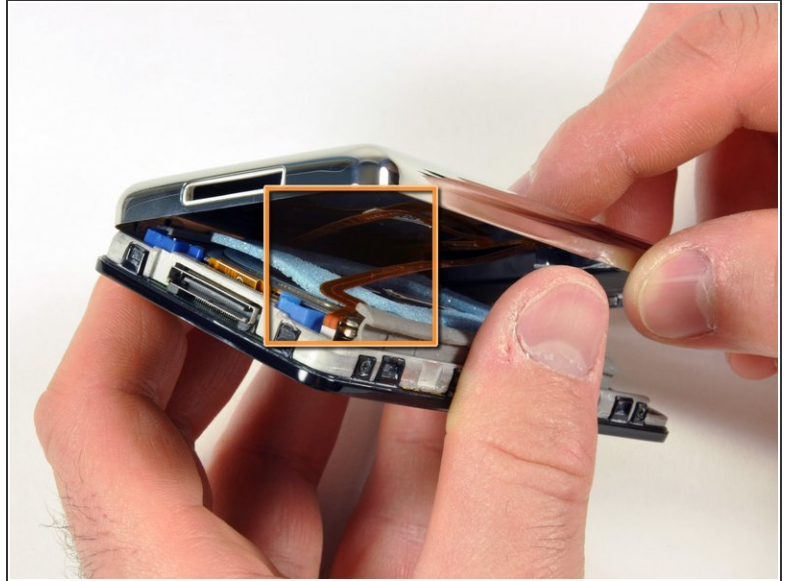
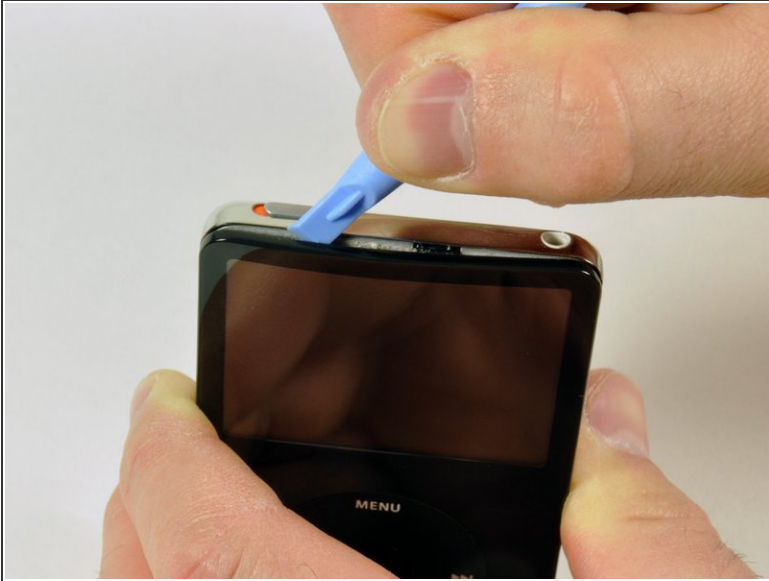
Step 4



i iPod両側に4つの固定クリップが付いています。iPod開口ツールを使って、iPodメタル背面から前面のプラスチックを分離します。

- iPod開口ツールをiPod左側に挿入し、ツールの先端をメタル背面側に向けます。
- 小さなギターピックなどは、iPodを開口するのに非常に役立ちます。ピックを差し込んだら、ケース周辺にスライドさせるだけで、クリップが外れて、作業が簡単になります。
- 開口ツールを左右に小刻みに動かして、左側に移動すると、隙間がわずかに拡大します。
- iPodの端全体が緩むまで作業を続けます。
- 次に開口ツールをホールドボタンの右側に挿入します。ディスプレイは非常に壊れやすいため、ツールを挿入する際は十分に注意してください。

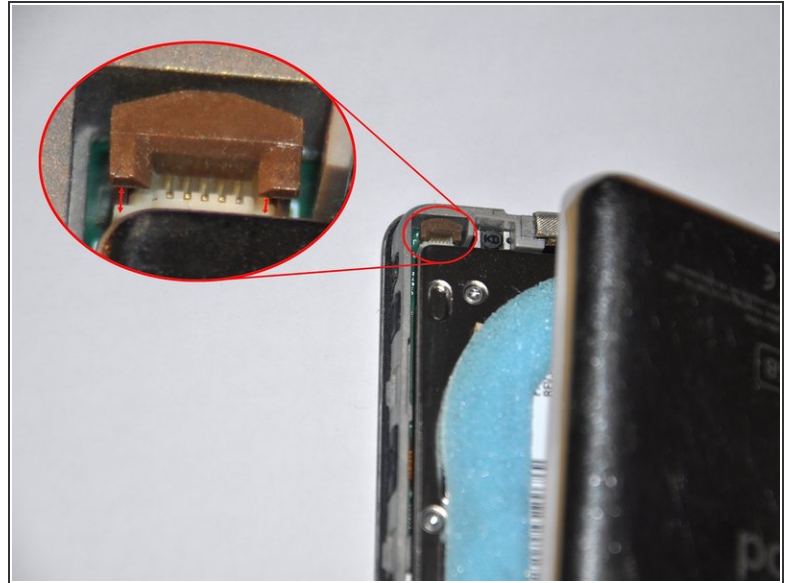
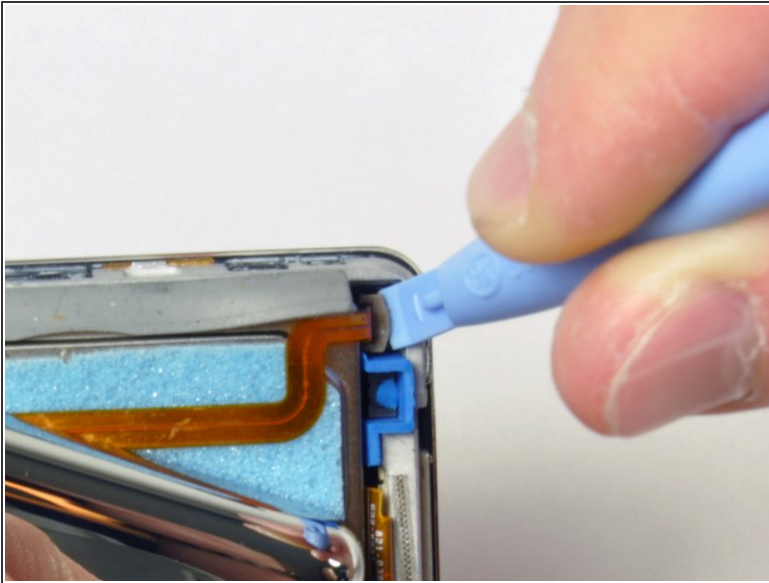
Step 5



- ディスプレイ上部に開口ツールをゆっくりとスライドし、固定クリップを外します。
- これで、iPodの反対側が簡単に緩むはずです。 そうでない場合は、iPod左側と同じようにiPod右側に開口ツールを差し込んでください。
- iPod前面を背面から約2センチ程度、離します。

⚠ iPodのケーシングが開きますが、まだ両側を完全に分離しないでください。 2本のリボンケーブルが背面パネルとiPod本体に繋がっています。

Step 6



- 角度のついたピンセットまたはiPod用オープニングツールで、オレンジ色のバッテリーリボンケーブルを固定している茶色のコネクタラッチを上にもスライドさせます。このとき、ラッチの両側から引っ張るようにしてください。茶色のコネクタラッチを1~2mmほど持ち上げればケーブルは外れます。それ以上持ち上げたり、ラッチを外したりすると、白いコネクタも一緒に引っ張ってしまう可能性があります。

⚠️ あまり持ち上げすぎると、ロジックボードからバッテリーコネクタを引き抜いてしまう可能性があります。

⚠️ 茶色のコネクタは必ず真上にスライドさせてください。コネクタはデリケートで、横にずらすと壊れてしまいます。コネクタの下部にはケーブルを固定するためのフックがあります。片方のアームが折れると、すぐにバッテリーケーブルを元に戻すことができなくなります。もし折れてしまったら、ケーブルをスロットに入れてから、茶色のホルダーを押してケーブルが滑り落ちないようにします。

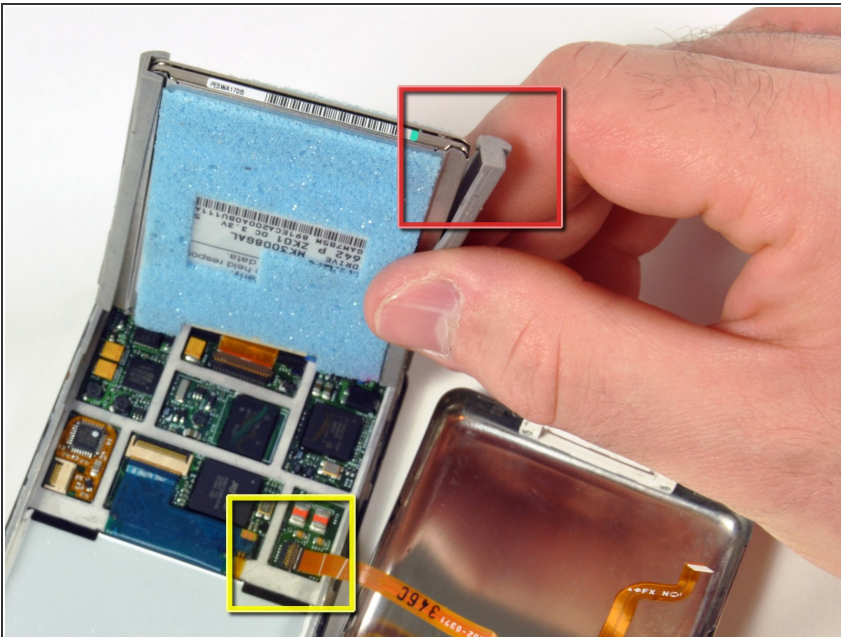
- コネクタからケーブルを外します。

Step 7



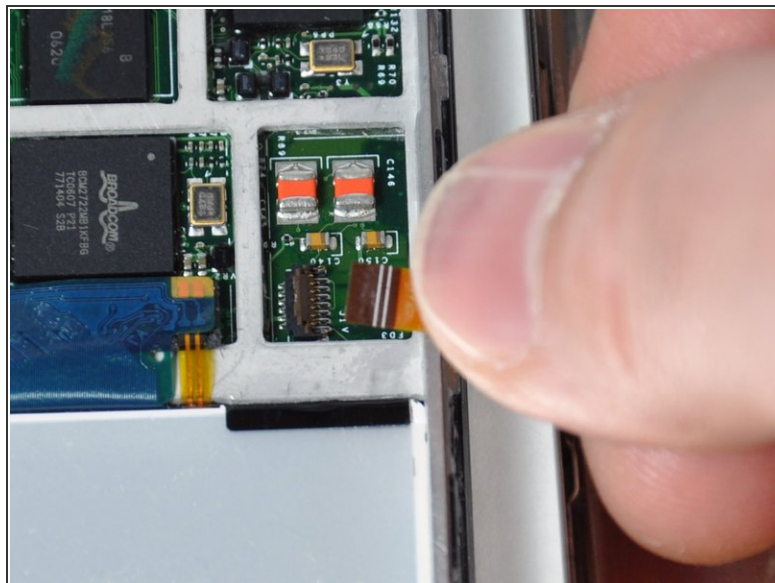
- これで、フロントケースとバックケースをつなぐオレンジ色のリボンケーブルが1本残りました。
- この時点で、青いゴムバンパーを取り外して交換するか、ケースを分離して続けることができます。
- ① ケースを分離することは、バッテリー交換を完了するために必要ではありませんが、交換を容易にすることができます。ただし、さらに余分なケーブルを取り外す必要があり、取り外しの際に破損する危険性があります。

Step 8



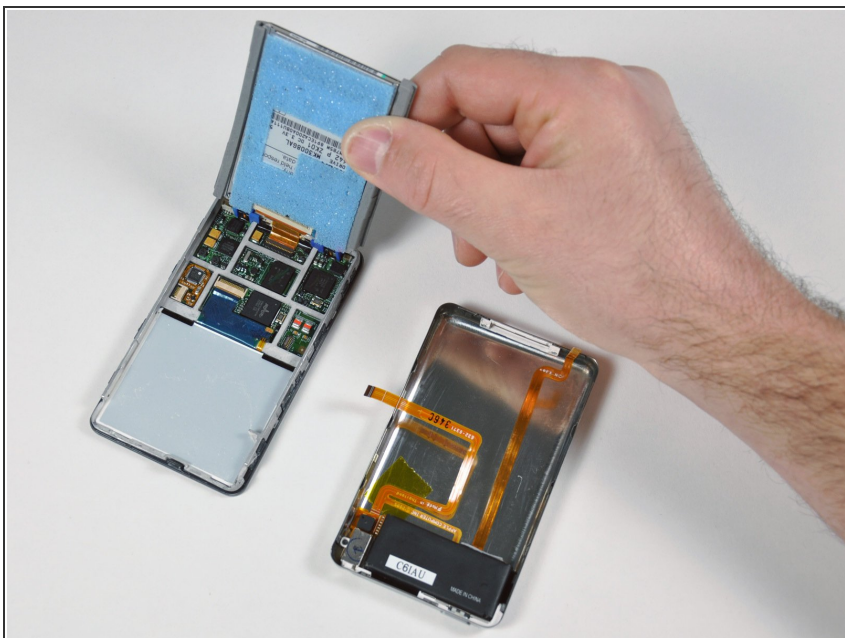
- ハードドライブを持ち上げて、ヘッドフォンジャックリボンコネクタ（黄色のボックスで表示）を露出させます。
- ① ハードディスクのバンパーが緩んだ場合は、写真のように切り欠きがある状態で元に戻してください。

Step 9



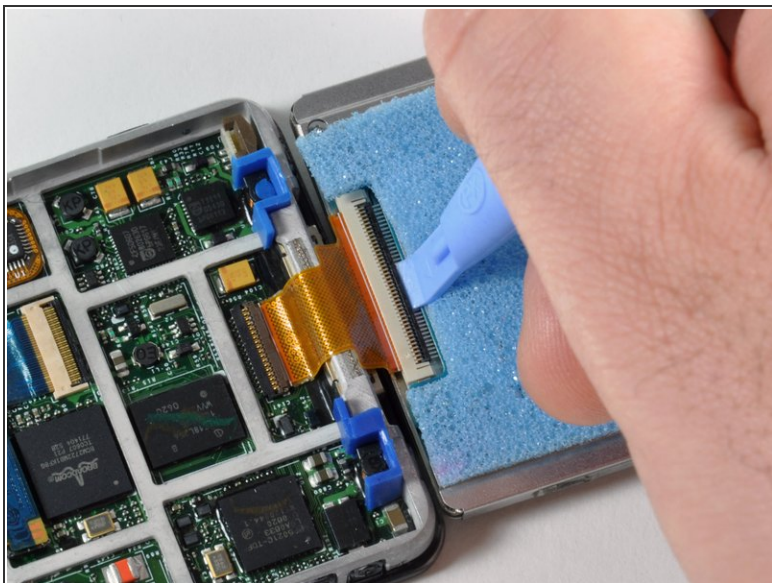
- iPodオープニングツールで、ヘッドホンリボンケーブルコネクタの茶色のタブをゆっくりと持ち上げます。タブが90度回転し、リボンケーブルが外れます。
- 指先を使って、ヘッドホンジャックのリボンケーブルを引き抜きます。

Step 10



- これでiPodの表と裏が完全に分離されたはずです。

Step 11 — ハードドライブ



- iPod用の小さなオープニングツールを使って、ハードドライブリボンケーブルを保持している黒いヒンジを外します。タブがロジックボードに向かって90度回転して、リボンケーブルが外れます。
- 人差し指でリボンケーブルを固定し、ドライブをリボンケーブルから外します。
- ① ハードドライブラバーサイドバンパーが取り付け中のドライブに取り付けられていることを確認します。この作業を行うには、ハードドライブラバーサイドバンパー取り付けガイドを使用します。
- ① 必要に応じて、ハードディスク・ドライブの青いフォーム・パッドも交換用ドライブに移植する必要があるかもしれません。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。